

# 高耐候低汚染形セラミック変性ターペン可溶ふっ素樹脂塗料

セラMフッソ

#### 系 統 高耐候低汚染形セラミック変性ターペン可溶ふっ素樹脂塗料

適用規格 JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料(1級)

### ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

### 特

- 1) 耐候性・耐汚染性が非常に優れています。
- 2) 塗料用シンナーで希釈可能であり、臭気が少なく作業環境に 優れています。
- 3) 幅広い素材(旧塗膜)適性を有しています
- 4) 光沢・肉持ち感が良く乾燥が優れています。
- 5) 塗装作業性、仕上がり性に優れています。 6) 内・外部に幅広く適用できます。 7) 鉛・クロムを配合しておりません。

- 8) 防カビ性、防藻性を有しています。

#### 塗料性状 ※上記JIS規格は、つや有りのみに適用されます。

±1	<b>全行にが</b>					
	項 目	内 容				
1	荷姿	3.5kgセット、15kgセット ベース: 3.0kg、12.9kg 硬化剤: 0.5kg、2.1kg				
2	混合比	ベース/硬化剤=6/1				
3	色 白及び各色					
4	つ や	つや有り、7分つや、5分つや、3分つや (IIS K 5659適合はつや有りのみ)				
5	仕上がり感	平 滑				
6	塗料比重	混合前:1.23(白) 混合後1.18(白)				
7	溶剤比重	0.84				
8	加熱残分	60%				
9	劇物表示 (品名·含有量)	_				
10	労安法上の 表示有害物	ベース: キシレン エチルベンゼン 硬化剤: –				
11	有機則/特化則	ベース: 第3種有機溶剤等 硬化剤: 第3種有機溶剤等				
12	消防法による 危険物区分	ベース: 第4類 第2石油類(非水溶性) 硬化剤: 第4類 第2石油類(非水溶性)				
13	硬化剤の成分による区分	イソシアネート				

注)上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

#### 涂生冬件

主状不口								
塗装方法	ハケ	ローラー	エアレス					
希 釈 率	0~10%	0~10%	5~10%					
標準所要量 (kg/m²/回)	0.12	0.12	0.14					
希 釈 剤	塗料用シンナーA							

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります 標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。 公共建築工事標準仕様書の塗付け量は0.10kg/m2です。

## 塗装間隔

工女(5)110							
項目	温 度	23℃					
標準塗装間隔	最 短	4 時間					
W. I EXIMIN	最 長	7 日					
使 用 時 限		8 時間(※)					

※つや調整品の場合は、使用時限は5時間(23℃)となります。

### 主な適用素材

コンクリート、モルタル、珪酸カルシウム板、窯業系サイディングボード、 鉄、アルミ、亜鉛めっき 等

### 主な適用下塗塗料

スーパーザウルスⅡ、ダイナミックシーラーマイルド、浸透形Mシーラー、 エポマリンGX、エスコ、エスコNB、エスコNBマイルド、 アレスホルダーHG、マルチタイルコンクリートプライマーEPO等

#### 主な適用中塗塗料

セラMフッソ 中塗

#### 主な適用上塗塗料

## 使用上の注意事項

- 1) 素地が結成したり、霧が発生するなどの時は塗装を行なわないで下さい。 2) 被塗面が十分に乾燥していることを確認の上で塗装してください。 3) ベース・硬化剤は湿気を吸いやすい為、保管場所・保管条件には十分注意
- してください
- 4) 希釈シンナーは、塗料用シンナーAを使用して下さい。
- 4) 希釈シンナーは、愛科用シンナーAを使用して下さい。
  5) はけ・ローラー・塗装機などの洗浄にはラッカーシンナーを使用して下さい。
  6) モルタル・コンクリート素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下
  (ケット科学社製(H-2))または5%以下 (ケット科学社製H-500シリーズ:コンクリートレンジ)まで
  乾燥させた後、適切な下塗りを塗装後に本品を塗装して下さい。
  つべ一スと硬化剤を調合したものは、8時間以内(23℃)に使い切って下さい。
  つや調整品の場合は、5時間以内(23℃)に使い切って下さい。
  8) 換気の良い場所で取り扱い、容器はその都度密栓して下さい。

- 9) つや調整品については、高温などの乾燥が早い環境下ではつやムラが生じることがありま
- 9) ファミュース す。 す。 10) つや調整品は、塗装方法の変動、塗付量のバラつき等によりつやムラが生じることがありま す。過希釈した場合や塗付量が少ない場合は、白ボケやツヤムラが発生しやすくなりますの でご注意下さい。また、被塗物の形状や見る角度により実際のつやや色味と異なって見える
- 場合かめります。 11) 中塗~上塗の代わりに上塗~上塗の塗り重ねも可能です。 その場合の標準塗装間隔は、つや有り、4時間以上7日以内(23℃) つや調整品;16時間以上7日以内(23℃)、48時間以上7日以内(10℃)です。 12) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細については
- SDS(安全データーシート)を参照して下さい。
- ※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめ .゙了承ください。